

大阪大学大学院薬学研究科 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開

1. 研究課題名	飲泉の実施に関する現状調査と健康への影響に関する研究
2. 研究責任者 (所属・職位・氏名)	大阪大学大学院薬学研究科医療薬学分野・教授・池田賢二
3. 倫理審査と承認日	【承認日】2023年12月25日(薬人2023-14) 【審査】大阪大学大学院薬学研究科・薬学部臨床研究倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長の承認を得て実施する。
4. 研究実施期間	承認日～2025年3月31日
5. 共同研究機関および 各施設の研究責任者 (※多機関共同研究の場合記載)	
6. 研究の目的・意義	<p>目的 飲泉は、広く一般に普及してはいないものの、飲泉場が各地に設けられているなど愛飲者は少なくない。しかしながら、飲泉による健康への良好な影響が期待されているものの、具体的な健康への有用性や有害性に関する知見はほとんど得られていない現状である。本課題では、飲泉活用の現状を把握するため、飲泉経験のある方の飲泉状況と心身への影響に関する情報を広く収集し、飲泉による健康への影響に関する他に類を見ないデータベースを作成する。得られた情報から、飲泉に供する温泉の特性と人の健康への影響を相関解析することで、飲泉の健康への影響を多方面から傾向評価し、飲泉活用の適正化を目的とする。</p> <p>意義 飲泉の有用性は期待されているものの、医学的に飲泉活用の指導などは行われておらず、適正な飲泉活用には至っていない現状である。健康への積極的な飲泉活用のためには、医学的に適切な情報を整備し、広く飲泉に関する情報提供を行う必要がある。現時点では、飲泉による心身への影響に関する報告は僅かであるため、広範囲に飲泉体験調査を行い、温泉の特性と人の健康への影響の相関性を明らかとすることで、飲泉活用の適正化を図ることが可能となる。そのために、飲泉によるなんらかの影響の有無や詳細について、飲用する温泉の性質に応じた影響についての仮説形成を目指し、理想的にはセルフで飲泉種の取捨選択、および実施の有無自体を適切に行うことを補助するためのツール提供を目指す。</p>
7. 対象となる試料・情報、その取得期間、利用方法	<p>飲泉経験があり、本調査研究参加に同意され、Webアンケートに不備無く回答された方</p> <p>研究実施機関で回答された回答結果は、解析ソフトJMPでロジスティック回帰分析、χ二乗検定などでデータ解析・評価を行い、飲泉の特性と人の健康への影響因子の相関性を見出す。相関性が認められた飲泉の有用性、有害性については、同ホームページ上で公開し、日本温泉気候物理医学会などで報告、または同学会誌などに論文投稿する。</p>
8. 利用または提供する試料・情報の項目	インターネット上のホームページ内アンケートで記載している。
9. 研究対象者またはその代理人の求めにより、研究対象者が識別される資料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法	回答者には参加番号が割り振られ、同意撤回の際には、参加番号を問い合わせ先に連絡することで撤回される。
10. 研究資金・利益相反	本学（未来基金事業）自主研究奨励事業を資金とし、研究機関の研究責任者、研究者が本研究に関わる利益相反に関して申告が必要な場合、当該研究者が所属する各研究機関が設置した利益相反審査委員会等の審査及び承認を受けるものとする。
11. お問い合わせ先	薬学研究科医療薬学分野・教授・池田 賢二 e-mail: k-ikeda.phs@osaka-u.ac.jp